

第1回ジオパーク下仁田協議会学術部会 (報告)

日時 令和元年5月15日(水) 午後6時00分

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	○			渡辺 悟	×
下仁田自然学校	中井 均	×				
群馬県立自然史博物館	菅原 久誠	○				
下仁田町歴史館	神戸 領栄	×		下仁田町自然史館	中村 由克	○
中小坂鉄山研究会	原田 喬	×		下仁田町自然史館	赤岡 明	○
群馬大学名誉教授	吉川 和男	○		下仁田町自然史館	関谷 友彦	○

オブザーバー 里見 立夫氏

1 開 会

2 報 告

自然史館研究報告 4号が出版されました

平成30年度学術奨励金の成果が掲載されました。

3 協議事項

1) 令和元年度学術奨励金の選考について

今年度7件の応募がありました。提出された計画の実現性、下仁田地域にとってのメリットなどを考慮し、別紙のとおり3件の研究について下仁田町に研究援助を推薦することにしました。

2) 学術奨励金制度について(制度改訂に向けて)

学術奨励金を30年度実施してみた結果、下記の問題点が挙がったので、今年度は対策します。

- ①申請書の予算や収支報告書の書き方がばらばらなのでHPに見本を掲載する。

- ②分析研究など実施する場合に、自分の研究室でやる作業と外部業者に委託する作業を明確に記入してもらうようにする
- ③学生、院生の応募の場合は、指導者（担当教官など）から推薦状を提出してもらう。
- ④研究成果の公表について、自然史館研究報告での要旨のほか、学会や学会誌へ投稿してもらうように奨励金交付決定後に依頼する。（学会投稿してもらうつもりで研究に望んでいただく）
- ⑤請求書の口座情報記入箇所が下仁田町の会計システムに必要な情報を満たしていないので変更する。
- ⑥研究の支援資金なので、概算払いを 50%から 100%に出来ないか下仁田町と交渉する。
- ⑦成果報告会の開催について、昨年度は行政主導で行ったが、準備段階から部会として携わるようにする。告知ももっとしたほうがいい。

以上のことを踏まえて令和 2 年度の募集開始までに要綱と書式を修正する。

3) 令和元年度ジオパーク協議会学術部会の目標

アクションプランや再審査（2017）の指摘事項に対する回答書なども含めて検討し、下記の目標を定めた。

- ①学術奨励金の活用方法の検討
- ②下仁田ジオパークのメインとなる大地のストーリーの検討
- ③ジオサイトカルテ作成と更新
- ④ジオサイトの露頭の法的保護の検討

4) その他

学術部会に里見さん、大河原さん（下仁田ジオパークの会）を学術部会へ勧誘する。

次回の会議に再審査からこれまでの進捗状況を再確認する。

4 次回の部会開催について

令和 元年 7月中～下旬を予定

令和元年 下仁田ジオパーク学術奨励金(まとめ)

	受付	タイトル	所属	代表者
1	4月1日	下仁田ジオパークのジオサイトの評価	早稲田大学	高木 秀雄
2	4月4日	上州街道、下仁田付近に残る在来植物の探索	静岡大学	小川 滋之
3	4月8日	河川礫を用いた理科実験プログラム開発	千葉大学	泉 賢太郎
4	4月15日	中小坂鉄山の鉱床学的研究	成蹊大学	宮下 敦
5	4月15日	市街地ボーリング調査段丘編年と授業実践	千葉科学大学	木曾 功
6	4月15日	ユネスコ遺産保護プログラムの重複利用と地域住民活動	筑波大学	藤井 郁乃
7	4月24日	山岳域に生息するエゾハルゼミの集団的遺伝学的研究	筑波大学	湯元 景将

1、2、4の研究について条件付で奨励することを下仁田町に推薦する。